



今月の特集

Guided Biofilm Therapy

今回はGBT(Guided Biofilm Therapy)についてお話したいと思います。

GBTとは？



GBT(Guided Biofilm Therapy)とは、エアフローを用いて歯の表面についている汚れ(バイオフィルム)を除去するシステムのことです。当院でメンテナンスに通っていただく患者さまに最近導入している、粉・消毒水・除菌エアを勢いよくスプレー状に吹き付け、歯面をクリーニングする機器です。粉の種類によって甘い味がしたり、しょっぱい味がしたりすると思います。

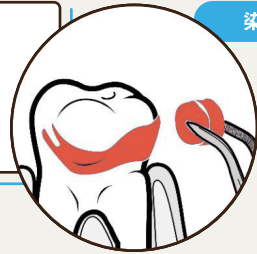
GBTは以下のような流れで行います。

1

患者さまの口腔内の染出しを行います。

(歯の汚れであるバイオフィルムを赤く染め出します)

染出し



2

染出しによって目に見えない汚れを可視化し、磨き残しやブラッシング苦手な部位を知ってもらうことを目的としてブラッシング指導をさせていただきます。

情報提供



裏面へ続く

3

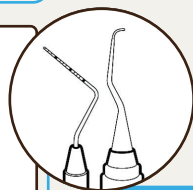
いよいよエアフローの登場です。赤く染まっているバイオフィルムを取り去っていきます。色で可視化されているので、汚れが取れるのがハッキリとわかり、歯科衛生士としても楽しい時間です。また、今までのブラシで届かなかった被せ物が多い方にも被せ物を傷つけることなくブラーク除去できるので被せ物の長持ちにも繋がると思います（硬くて取りきれない歯石は超音波スケーラーで除去していきます）。



歯肉線上・緑下の
エアフロー

4

最後に全体のチェックを行い、取り残しが無いことを確認します。むし歯リスクの高い方にはフッ素塗布を行います。



指差し確認

GBTとポリッシング

患者さまより、「歯の表面を磨くやつはやらないのですか?」とお問合せいただくことがございます。GBTの考え方では、歯の表面に研磨ペーストをつけて磨く処置（ポリッシング）は不要とされています。しかし、ポリッシングが好きな患者さまは多くですし歯科衛生士によってはリラクゼーション的な意味合いで処置をする場合もあります。エアフローを使用した場合はポリッシングがなかったとしても、クリーニングの質は全く問題ありません。安心してください。

バイオフィルムへの効果

バイオフィルムは、除去はできますが全く付かないようにすることはできません。重要なのはバイオフィルムの病原性を低く維持することです。バイオフィルムというのは、時間が経つほどに病原性を増していきます。そして、病原性の高いバイオフィルムは、むし歯や歯周病の原因になります。定期的に、増殖したバイオフィルムの除去を繰り返すことで、病原性を低く維持することができます。病原性の低いバイオフィルムはリスクとなりません。メンテナンスに定期的に通っていただき安定した状態を維持することができます。歯科業界は日進月歩です。今まで常識だったことが新しい常識へと塗替えられ、考え方もどんどん変わっていきます。シュンデンタルクリニックでは、最新の医療を患者さまに提供できるよう努力しております。今後も継続的にメンテナンスに通っていただき、健康維持・向上のお役に立ちたいと思います。



シュンデンタルクリニック

〒041-0802 北海道函館市石川町 461-38 TEL 0138-47-3737

<http://shundc.jp/>